

我孫子市史研究センター・会報287号 (通算593号)

発行・編集 我孫子市史研究センター

発行日 令和8年4月25日

2026（令和8）年度定例総会のご案内

2026年（令和8）年度定例総会を下記のように開催しますので、ご出席くださいますようお願いいたします。

我孫子市史研究センター会長 飯白 和子

記

日時 : 2026年5月28日（木）午前9時30分～10時45分
会場 : 我孫子南近隣センター第1会議室（けやきプラザ8F）
議案 : 2025（令和7）年度事業報告、2025（令和7）年度収入支出決算、
2026（令和8）年度事業計画および収入支出予算案、会則改正案、
役員改選案

以上

会費納入のお願い

2026年度の会費3000円の納入をお願いしております。部会、総会などで運営委員に渡していただくか、振込（郵便局、銀行）を利用して、遅くとも5月末までには納入してください。（5月28日の定例総会の際、納入出来ます。）なお、退会を希望される方は、事務局まで連絡してください。

歴史部会5月の研究講座を下記のように開催します

日時 : 2026年5月24日（日）午後1時30分～4時
会場 : 市民プラザ 第1会議室（資料代100円）
テーマ : 「将門の乱後の坂東社会と平忠常の乱—平氏内部抗争と東国武士勢力の再編—」
講師 : 野地 剛史 会員

将門の乱や『将門記』については、市史研の歴史講演会の「平将門と我孫子の古代」（講師：川尻秋生氏）、「『将門記』王城の地 - 下総国亭南について」（講師：山路直充氏）などがある。市史研会員による研究は会誌でも発表されてきた。また、古代・中世史部会では『将門記』をテキストに学んできた。しかし、将門の乱から凡そ100年後に起きた「平忠常の乱」は、京の公家をして房総三国は亡国になったと言わしめた乱でもあるが、あまり取り上げられていなかった。今回、野口実著「平忠常の乱の経過について」（『坂東武士団の成立と発展』1978所収）、高橋修著「常陸平氏成立史の現在」（『シリーズ中世関東武士の研究 常陸平氏』2015所収）に依拠しつつ、乱の経緯を検討、再構築を試みる。